

ぼうさい通信 (第1号)

令和7年6月6日(金)

岐阜清流高等特別支援学校

保健安全部 No. 1

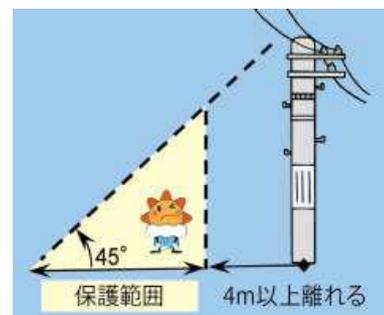
○雷クイズに挑戦しよう!

東海地方の6月から8月は、1年で最も雷が多い時期です。みなさんは雷についてどんなことを知っていますか?どんなことに気を付けていますか?以下の問題に ○ or × で回答しましょう。(答えは裏面)

- ① 雷は、海面、平野、山岳など場所を選ばずに落ちる。
- ② 雷は、周囲より高いものほど落ちやすい。
- ③ 雷は、金属に落ちやすい。
- ④ グラウンド、平地、山頂、尾根等の周囲の開けた場所にいると、直接人体に落雷することがある。
- ⑤ <積乱雲が近づくサイン>として、以下の3つが挙げられる。

「真っ黒い雲が近づいてきた」「雷の音が聞こえてきた」「急に冷たい風が吹いてきた」

- ⑥ 登下校時に雷が発生したので、近くの安全な場所に避難した。
- ⑦ 自転車で乗っているときに雷が鳴ったので、すぐに降りて姿勢を低くして安全な場所に避難した。
- ⑧ 電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れたところ(保護範囲)に退避すると良い。
- ⑨ 鉄筋コンクリート建築、自動車、バス、電車の内部は比較的安全である。
- ⑩ 高い木の近くは危険なので、最低でも木の全ての幹、枝、葉から2m以上離れた。



4月10日、奈良市にてサッカー部の活動中に落雷に遭い6名が病院へ搬送、うち1名が心肺停止、2名が意識不明の重体となった痛ましい事故がありました。雷のことをよく知り、自身を守る力を身につけましょう。

○非常変災時対応訓練を終えて

5月8日(木)に、非常変災時対応訓練を行いました。今回は「大雨注意報が発令され、今後さらに雨風が強まり警報に切り替わる」という設定で、緊急放送により速やかに下校する訓練でした。

訓練の目的や意義を理解し、緊張感を持って行動することはできましたか?

例えば ① 下校途中で電線が切れて垂れ下がっていたら、どうしますか?

② 毎日の通学経路脇にある用水路が溢れて水が氾濫していたら、どうするとよいですか?

今一度、非常変災時にどのような行動をとるべきかを一人一人が考えておきましょう。

【保護者の皆さまへ】

今回の訓練では、「すぐーる」によるアンケート回答率は約87%でした。前回とほぼ同じ回答率となりましたが、非常変災時における帰宅確認の回答率は100%でなくてはなりません。

非常変災時には電話やメールが不通になる可能性があります。こうした事態も想定し、生徒の安全確認を最優先するため、本校では電話とメールの両方で帰宅確認を行うようにしています。ご理解とご協力をお願いします。

雷クイズの答え

① ○

② ○

③ ×

④ ○

⑤ ○

⑥ ○

⑦ ○

⑧ ○

⑨ ○

⑩ ○

みなさん、いくつ正解できましたか？